第18回（2019年度）

母から子への手紙コンテスト

上位入賞作品

あなたに
伝えたい
想いがある

第18回心の手紙コンテスト

ら子への手紙

応募用紙

余白には記入しないでください。

二十五年前の写真を再現しようとは、よく思いつきましたね。ちょっぴりセピア色になった家族写真。紳一郎が五年生、君は三年生、お母さんも君達も硬い表情で写っています。お母さん文造が一年生でめぐみは三歳でした。県外で働く文造をネットで探し、君達も工夫してあの写真の服に合わせてましたね。お母さんは二十五年前の服をそのまま着用。体型が変わらないのと物持ちがいいのを、今度ばかりは自慢できました。

ソファーに座る位置もセピア色の写真そのままに。いえいえ、紳一郎と君には愛する男さんと子どもも加わって、ハイ・ポーズ！出来あがった写真は、お父さんを七くしたあの家族写真と並べて、遺影と向き合う翌年のために、五年後、十年後にまた更新しましょう。そのためにもみんなが健康でいなくちゃね。

○手紙文解説（必要でしたら参考までにお書き下さい。）

ひとりの子育てには悩みも多かったのですが、各々が成人し、家族が5人から10人に増えた今、幸せな日々です。

受付No. 1663

●入賞作品は、内容と氏名、年齢、職業、住所の一部（市区町村名まで）が本や新聞、テレビ、ホームページなどで発表される場合があります。（ご承諾いただけない場合は、入賞の対象といたしません）

確認のため丸で囲んでください→ 承諾しました

職業 無職

年齢 66歳

大賞

喜田 久美子 さん

(宮崎県)

第十八回 母から子への手紙コンテスト 原稿用紙 ※印刷してお書きください。

裏面に氏名・住所・電話番号・年齢・職業を明記し、一作品ずつ封書に入れ、切手を貼って郵送願います。
入賞作品は、内容・氏名・年齢・職業・市区町村名を、本・新聞・テレビなどで公開する場合があります。
ご承諾いただけない場合は入賞の対象としません。確認のため丸で囲んでください。→ 承諾しました

	あ	な	た	は	一	歳	一	ヶ	月	。	マ	マ	は	抗	が	ん	剤	を	始
め	て	十	六	日	目	の	こ	と	。	あ	な	た	が	深	く	寝	入	る	の
を	待	ち	、	覚	悟	し	て	シ	ャ	ン	プ	ー	を	始	め	ま	し	た	。
髪	は	抜	け	て	も	抜	け	て	も	抜	け	て	も	絡	み	つ	き	、	気
が	付	け	ば	三	時	間	以	上	シ	ャ	ワ	ー	を	浴	び	て	い	ま	し
た	。	そ	れ	で	も	、	湯	気	で	曇	っ	た	鏡	に	ぼ	ん	や	り	映
る	頭	は	、	ま	だ	黒	い	よ	り	に	見	え	ま	し	た	。	み	ず	ぼ
ら	し	い	姿	を	見	ら	れ	ま	せ	ん	よ	う	に	と	祈	り	な	が	ら
、	見	び	足	で	浴	室	を	出	る	と	、	泣	き	声	が	響	き	ま	し
た	。	湿	っ	た	体	の	ま	ま	駆	け	寄	り	、	あ	な	た	を	抱	き
し	め	ま	し	た	。	も	し	か	す	る	と	、	マ	マ	の	代	わ	り	に
泣	い	て	く	れ	た	の	か	な	?		夜	が	明	け	始	め	た	部	屋
で	、	よ	う	や	く	泣	き	や	ん	だ	あ	な	た	は	私	を	見	つ	め
、	ニ	ッ	コ	リ	微	笑	み	ま	し	た	ね	。	マ	マ	の	頭	が	面	白
か	っ	た	の	か	も	し	れ	な	い	け	れ	ど	、	私	が	私	で	あ	れ
ば	、	何	で	も	良	い	よ	う	で	し	た	。	マ	マ	は	、	パ	パ	よ
り	も	あ	な	た	に	嫌	わ	れ	る	の	が	、	怖	か	っ	た	の	よ	。
お	っ	ぱ	い	は	片	方	し	か	な	く	て	、	今	は	髪	ま	で	な	い
マ	マ	だ	け	ど	、	ま	た	朝	が	迎	え	ら	れ	て	幸	せ	で	す	。
泣	い	て	く	れ	て	あ	り	が	と	う	。	笑	っ	て	く	れ	て	、	あ
り	が	と	う	。															

20×20=400

320

備考
私の乳がん闘病において、宣告された日でもなく、手術を受けた日でもなくこの日がメインイベントだったと思います。子供から力をもらいつつ治療中です。
作品についての説明など、必要な場合は、参考までに備考欄へお書きください。
改行等によって生じた空白は文字数に含めません。枠内に書ききれない場合は備考欄をお使いください。

準大賞

本田 詩織 さん

(富山県)

第十八回 母から子への手紙コンテスト 原稿用紙

※印刷してお書きください。

裏面に氏名・住所・電話番号・年齢・職業を明記し、一作品ずつ封書に入れ、切手を貼って郵送願います。
入賞作品は、内容・氏名・年齢・職業・市区町村名を、本・新聞・テレビなどで公開する場合があります。
ご承諾いただけない場合は入賞の対象としません。確認のため丸で囲んでください。→ 承諾しました

1

お米送ります。おじいちゃんの棚田米じゃないけど奮発したので美味しいと思います。

研究室に籠ってばかりでは身体が持ちません。ご飯食べて下さいね。

なんとかお父さんと二人元気でやっています。満点大仏様も大切にしてますよ。小学校の修学旅行であなたが買ってきた大仏様です。テストの前にはいつも自分のお菓子を供えて手を合わせていましたね。お父さんとっすぐにあきるよ。と笑って見てましたが、大学を受験するその日も手を合わせて出かけました。

しかし、結果は不合格。私たちは思わず大仏様に恨み事を言ったものですが、あなたは大仏様にその時も手を合わせていました。

あなたが家を離れてもう十年になります。今はお父さんが大仏様にお供えをして二人で手を合わせています。あなたの健康と、研究がうまくいきますようにと。くれぐれも身体には気をつけて下さい。そして、時々でいいのでお父さんにラインしてあげて下さいね。

715

20×20=400

備考

作品についての説明など、必要な場合は、参考までに備考欄へお書きください。
改行等によって生じた空白は文字数に含めません。枠内に書ききれない場合は備考欄をお使いください。

日本郵便賞

宅見 春美 さん

(兵庫県)

第十八回 母から子への手紙コンテスト 原稿用紙 ※印刷してお書きください。

裏面に氏名・住所・電話番号・年齢・職業を明記し、一作品ずつ封書に入れ、切手を貼って郵送願います。
入賞作品は、内容・氏名・年齢・職業・市区町村名を、本・新聞・テレビなどで公開する場合があります。
ご承諾いただけない場合は入賞の対象としません。確認のため丸で囲んでください。→ 承諾しました

あなたがドナーになりたいと言った時、私は一瞬迷ってしまった。後遺症は？痛みや危険はないの？知識のなさが余計に私の不安を駆り立て、すぐには快諾できなかったの。

あなたは四人兄弟姉妹の一番上。共働きで忙しい私達に代わり、長女として下の子の面倒もよく見てくれたね。優しいあなたは、適合した白血病患者がまだ幼い男の子だと分かった時、一ミリの迷いもなかった。その姿を見て私は同意書に判子を押す決心をした。

健康な血を提供したいと、手術までの半年間は大好きなお酒を断ち、一切の食品添加物を止め、細心の注意を払って生活をしたね。

「自分の為は無理やけど人の為やったらできるねん」と笑う横顔は眩しかった。手術を終えたあなたを抱き締めた時、命のバトンを受け取った少年もこの胸に抱いている気がしたの。あなたの骨髄を受けた男の子は、私の大切な五人目の息子。命を分け合う勇気と優しさを教えてくれて、ありがとう。

20×20=400

798

備考

作品についての説明など、必要な場合は、参考までに備考欄へお書きください。
改行等によって生じた空白は文字数に含めません。枠内に書ききれない場合は備考欄をお使いください。

優秀賞

小南 博子 さん

(兵庫県)

第18回心の手紙コンテスト
[illegible]ら子への手紙
応募用紙

「あれやれ、これやれ、ほんとうっとおしいわぁ。少しはゆっくりさせろや」これは隼あんたの夏休みの宿題、中学生の主張作文で「反抗期と僕」と題した作文の書き始め。作文嫌いの隼にしたら、なかなか面白い。

長男のせいか、クソ真面目で要領が悪い隼。そんなあんたも反抗期がやってきたのかと、お母さんはちょっと嬉しかった。

とは言え、隼の態度と発言にイラッとして日々バトル。怒って二階に逃げていく日や登校前に言い合って「帰ってこんでいいしな」。ってお母さんに捨てゼリフ吐かれながら登校する日も一度ではないね。

そんな隼「反抗期なんて嫌だ。早く終わって。いい事なんか何もない」って涙目で言ったことあったね。隼なりに悩んでたんやな。

隼の作文の締めの言葉。「反抗期を乗り越えた未来の僕に期待。反抗期と今日も向かい合います」お母さんも同じ気持ち。その日を待ってる。さあ今日も反抗しておいで。

余白には記入しないでください。

○手紙文解説（必要でしたら参考までにお書き下さい。）

受付No. 1026

●入賞作品は、内容と氏名、年齢、職業、住所の一部（市区町村名まで）が本や新聞、テレビ、ホームページなどで発表される場合があります。（ご承諾いただけない場合は、入賞の対象といたしません）

確認のため丸で囲んでください→ 承諾しました

ご職業 パート

年齢 39 歳

優秀賞

櫻井 ゆかり さん

（京都府）

第18回心の手紙コンテスト

母から子への手紙
応募用紙

あの日、初めて会った君を、私の息子にしました。里子というそうです。4才というのに、この世の苦労を全て背負っているような君。本当の名前すら知らない君。私をお母さんと思ったよね？　きれいな瞳の奥には、言いつくせない悲しみも、たくさんあったのに楽しそうに笑ってくれた。私の家までの道、車の中にいて、ずっと泣いていたよね。知らない所へ連れて行かれるのだから、仕方ないよね。私は幸せだったよ。

不慮の事故。今夜が峠と思います。出血多量で、痛々しく、なのに、立ち上がろうと、したよね。大丈夫と思わせるために、小さな身体は、時折、ガタガタとして、私、泣くしかできなかった。何度も何度も、私に笑って見せてくれた。辛かったよね。痛かったよね。せっかく、私の家に来てくれたのに、ごめんなさい。最後は、私のひざの上に頭を乗せて息をしなくなった。呼んでも目を開けてくれなかった。勇太郎、ごめんなさい。

余白には記入しないでください。

○手紙文解説（必要でしたら参考までにお書き下さい。）

●入賞作品は、内容と氏名、年齢、職業、住所の一部（市区町村名まで）が本や新聞、テレビ、ホームページなどで発表される場合があります。（ご承諾いただけない場合は、入賞の対象といたしません）

確認のため丸で囲んでください―（承諾しました）

ご職業　主婦

年齢　59歳

受付No.　1300

優秀賞

山田 茂子 さん

（福島県）

第1回心の手紙コンテスト

母から子への手紙

応募用紙

余白には記入しないでください。

「大きくなったらこの服ちょうだい」。お母さんの服の袖口をクックッと引っぱって上目使いにおねだりしていたあなた。ひらひらレースが大好きで、ダボダボのお母さんの服をドレスみたいにして走り回っていたよね。

そんなあなたが、もう二分の一成人式。

運動会で速く走れるように、と靴を買いに行ったら、な、な、なんと二十四・五センチ。お母さん、まだ二十三・五なんだけど…。

並んで歯磨きしている時に鏡の中で目が合って、あなたがニヤリとしたんだよね。考えた事はきっと同じ。身長もぬかれそう、と思って厚底ダイエットスリッパ購入。ふっふっふ背伸び効果大なの知ってた？

本当の成人式の頃には、心も体もお母さんを追いこして、優しくて強い素敵な女性になっているんだろうな、なんて考えたら泣けてきちゃう。

大きくなったから、今度、二人で一緒に着られる服を買いに行こうね。

余白には記入しないでください。

◎手紙文解説（必要でしたら参考までにお書き下さい。）

受付No. 1409

●入賞作品は、内容と氏名、年齢、職業、住所の一部（市区町村名まで）が本や新聞、テレビ、ホームページなどで発表される場合があります。（ご承諾いただけない場合は、入賞の対象といたしません）

確認のため丸で囲んでください→ 承諾しました

職業 主婦

年齢 45歳

優秀賞

石丸 裕子 さん

（岐阜県）

孝博へ

孝博が3才のある冬の夜。急にぽろぽろと涙をこぼしながら、「ママ。もし孝博が死んだら、また孝博を産んでね。またママに会いたいから。」と言ったことがあったよね。ママはその言葉にびっくりして、悲しくて、そしてうれしくて、「分かったよ。また孝博を産むよ。」って二人でわあわあ泣きながら、約束したよね。そんなことがあった一ヵ月後、孝博は病気にかかって入院した。ママはあの時、孝博が本当に天国にいってしまうんじゃないかと思って、すごく怖かった。でも、元気になって幼稚園にも通えたね。5才になった今だから、もう分かるかな？ママは本当はもう一度孝博を産んであげることはできません。仮に子供を産めたとしても、それはもう孝博じゃない。一度きりの孝博とママ。だからこうして一緒にいられる毎日がとっても大切で幸せなことなんだ。いつか必ず一緒にいられない日が来る。その時まで楽しく暮らそうね。

優秀賞

小泉 尚子 さん

(北海道)

2人の娘へ。朝、お母さんを起こすのは目覚まし時計ではなく、あなた達ですね。あともう少し寝かせて下さい。朝ごはんの時、喋るのに夢中になって、ご飯をぽろぽろ落としています よ。

どうして同じおもちゃで遊びたがるんですか。他にもおもちゃはたくさんあります。お菓子は一人一つしか買いません。嬉しそうに「ぱい持ってきてもだめです。お母さんは一人しかいないので順番にしか見れません。

一人ずつゆっくり見せて下さい。

夕ごはんを作っている時にけんかをするのはやめなさい。お風呂場が2人のおもちゃだらけです。遊んでばかりいるとのぼせますよ。寝る前の絵本も一人一冊です。図鑑はできたらやめて下さい。

あなた達と一緒だと毎日があっという間にすぎていきます。夜、布団に入って寝顔を見ていると幸せで胸がいっぱいになります。明日の朝も2人で仲良く起こして下さいね。

コクヨ ケ-20 20×20

1578

優秀賞

恵美 麻保 さん

(滋賀県)

「還暦祝いに、何か欲しい物ある？」って、あなたが電話くれたのは、母さんが六十歳を迎える一ヶ月前だったよね。その時母さんは断捨離の真っ最中で、「気持ちだけ貰うわ。物は持って死ねんから」って、返事したよな。

そしたら誕生日に、「週末、東京に来てよ。僕たちと、箱根に一泊旅行をしよう。思い出だったら持って死ねるから」って、ラインでメッセージを送ってくれたね。

あなたと、お嫁さんと、二歳の孫と一緒の部屋に泊まるなんて、母さんは思ってもみなかった。夜遅くまではしゃぎ回る孫にずっと付き合って、まるで嵐のような二日間だった。

母さんは張り切りすぎて、少し疲れたけど、こんなに心地良い疲労感は、今まで味わったことがなかったよ。遊び疲れていつの間にか母さんの布団で眠ってしまった孫の温もりは、三十二年前のあなたを思い出させてくれたよ。

今回の旅行の思い出は、必ず天国に持って行くからね。ボケて忘れてしまったらゴメン。

コクヨ　ケー70　20×20

1823

優秀賞

渡辺 恵子 さん

(徳島県)

すべての入賞作品集は、第17回(2018年)と第18回(2019年)を１冊にまとめて、2020年の春に発行予定です。

【事務局】猪苗代町絆づくり実行委員会 〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字鶴田141-1 ☎0242-72-0180